

消防法に係る免状に関する事務取扱要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、消防法（昭和23年法律第186号）第13条の2第1項に規定する危険物取扱者免状及び同法第17条の6第1項に規定する消防設備士免状に係る事務の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

(手数料の免除)

第2条 危険物取扱者免状及び消防設備士免状（以下「免状」という。）の交付、再交付又は書換えの申請に係る奈良県手数料条例（平成12年3月奈良県条例第33号）第3条の規定による手数料の免除に関する取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 免状の写真に係る書換え（危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）第33条第5号に掲げる事項に係る書換え及び消防法施行令（昭和36年政令第37号）第36条の4第5号に掲げる事項に係る書換えをいう。以下同じ。）の申請及び免状の写真以外に係る書換え（免状の写真に係る書換え以外の書換えをいう。以下同じ。）の申請が同時に行われた場合は、免状の写真以外に係る書換えに係る手数料を免除する。
- (2) 現に免状の交付を受けている者が、他の種類の免状に係る交付の申請と現に交付を受けている免状の書換えの申請を同時に行った場合は、免状の書換えに係る手数料を免除する。
- (3) 免状の再交付の申請及び当該再交付に係る免状の書換えの申請が同時に行われた場合は、免状の書換えに係る手数料を免除する。

(複数の免状の交付等に係る手数料)

第3条 2以上の種類の免状の交付を受けようとする者が納付すべき手数料の額は、当該交付を受けようとする免状の種類の数に交付申請に係る手数料額を乗じて得た額とする。

2 2以上の種類の免状の再交付を受けようとする者が納付すべき手数料の額は、当該再交付を受けようとする免状の種類の数にかかわらず、再交付申請に係る手数料額とする。

(免状の自主返納)

第4条 現に免状の交付を受けている者からその全部の種類免状の自主返納(消防法第13条の2第5項(同法第17条の7第2項において準用する場合を含む。))の規定により知事が返納を命じた場合以外の返納をいう。)の申出があった場合は、当該返納しようとする免状及び危険物取扱者免状(消防設備士免状)自主返納申請書(第1号様式)を提出させるものとする。

2 前項の規定は、免状の交付を受けている者が死亡し、又は失踪宣告を受けた場合において、戸籍法(昭和22年法律第224号)に規定する死亡又は失踪の届出義務者又はその代理人が、当該死亡し、又は失踪宣告を受けた者に係る免状を返納する場合に準用する。この場合において、「危険物取扱者免状(消防設備士免状)返納申請書(第1号様式)」とあるのは、「危険物取扱者免状(消防設備士免状)返納届出書(第2号様式)」と読み替えるものとする。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、免状に係る事務に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月1日から施行する。

危険物取扱者免状自主返納申請書

都道府県知事 殿

申請者 住 所： _____

(フリガナ)

氏 名： _____

本 籍： _____

連 絡 先： _____

生年月日： 大正・昭和・平成 年 月 日

消防法第 13 条の 2 第 3 項の規定により交付を受けた危険物取扱者免状の全部を自主的に返納（現に有している免状の交付を受ける資格を放棄）したいので、以下のとおり申請します。

1 免状番号（知事印上の番号） _____

2 返納理由 _____

3 免状の有無 有 ・ 無（亡失又は滅失）（いずれかを○で囲む）

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。
- 2 免状の自主的な返納は、現に有している免状の交付を受ける資格を放棄するものであり、この場合の放棄とは、当該免状を交付した都道府県知事により当該資格が取り消されることと同じ効果を有するものであることに留意すること。

様式第 2

平成 年 月 日

危険物取扱者免状返納届出書

都道府県知事 殿

届出者 住 所 : _____

(フリガナ)

氏 名 : _____

(免状の交付を受けている者との関係 : _____)

連 絡 先 : _____

生年月日 : 大正・昭和・平成 年 月 日

消防法第 13 条の 2 第 3 項の規定により免状の交付を受けている者が死亡し、又は失そうの宣告を受けたことにより、危険物取扱者免状を返納したいので、以下のとおり届出します。

1 免状所持者氏名 : _____

2 免状番号 (知事印上の番号) : _____

3 本 籍 : _____

4 生年月日 : 大正・昭和・平成 年 月 日

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とすること。

消防設備士免状自主返納申請書

都道府県知事 殿

申請者 住 所： _____
(フリガナ)
氏 名： _____
本 籍： _____
連 絡 先： _____
生年月日： 大正・昭和・平成 年 月 日

消防法第17条の7第1項の規定により交付を受けた消防設備士免状を自主的に返納（現に有している免状の交付を受ける資格を放棄）したいので、以下のとおり申請します。

- 1 免状番号（知事印上の番号） _____
- 2 返納の別 全部自主返納 ・ 一部自主返納（いずれかを○で囲む）
- 3 自主返納を希望する免状の種類等（全部自主返納の場合、記載する必要はありません。）

種類等	交付年月日	交付番号	交付知事

- 4 返納理由 _____
- 5 免状の有無 有 ・ 無（亡失又は滅失）（いずれかを○で囲む）

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 免状の自主的な返納は、現に有している免状の交付を受ける資格を放棄するものであり、この場合の放棄とは当該免状を交付した都道府県知事により当該資格が取り消されることと同じ効果を有するものであることに留意すること。

平成 年 月 日

消防設備士免状返納届出書

都道府県知事 殿

届出者 住 所 : _____

(フリガナ)

氏 名 : _____

(免状の交付を受けている者との関係 : _____)

連 絡 先 : _____

生年月日 : 大正・昭和・平成 年 月 日

消防法第17条の7第1項の規定により免状の交付を受けている者が死亡し、又は失そうの宣告を受けたことにより、消防設備士免状を返納したいので、以下のとおり届出します。

1 免状保有者氏名 : _____

2 免状番号 (知事印上の番号) : _____

3 本 籍 : _____

4 生年月日 : 大正・昭和・平成 年 月 日